

# 安保関連法強行から1年。廃止を求める声、いまも強く 市民連合@上越などが抗議のスタンディング

9月19日は安保関連法案（戦争法案）が強行採決されてから1周年でした。全国各地で、「戦争法廃止せよ!」「憲法改悪を許すな」と集会やデモ、スタンディングなど様々な行動が行われました。

上越市でも、この日、かに池公園近くの交差点に70人ほどが終結し、「戦争法NO!」「安倍政治を許さない」などのプラカードを持ってドライバーなどにアピールしました。またハンドマイクを使って、市民連合@上越の馬場秀幸弁護士や日本共産党地区委員長の上野公悦市議などが訴えました。



強行から1年経つ中で、安倍内閣が参院選後、憲法改悪に乗り出してきていること、安保法制の「差し迫った危険」として南スーダンでの自衛隊の任務拡大によって「殺し殺される状況」になる可能性が大きくなっていることなど、安倍内閣の暴走を批判する声が相次ぎました。

先の参院選では32の1人選挙区で野党

勢力が安倍内閣の激しい攻撃をはね返して勝利しましたが、差し迫った新潟県知事選でも何としても野党と市民の共闘によって候補を擁立し、勝利をという訴えも強く行われました。

## JRからの資産譲渡、資料提出へ

13日、14日の総務常任委員会審査の続報です。並行在来線対策では、JR東日本から在姿譲渡されるとしていた資産などについて質問しました。私は「改良されたものがあつたか。あつたらそれを具体的に教えてほしい」「JRの資産についてはトキめき鉄道が必要とするもの、不要なものがあつたはずだ。どこがどうなつたか主だったものでいいから示してほしい」と訴えました。これについては後に資料として示されることになりました。このほか、切符の自動販売機の設置状況、運賃値上げ対策として実施された回数券の発行実績等についても質問しました。

## 北越急行の電車にトイレ設置を

北越急行の電車にトイレを設置してほしいとの声が大潟区など関係地区住民から強く出されています。私は、「北越急行とどの程度話し合っているのか。今後、どう取り組んでいくのか」と質問しました。

これにたいして新幹線・交通政策課の



## 自然から感動メッセージ

「写友かたくり写真展」を観てきました。今回のテーマは「自然からのメッセージ 光・彩・香」、17人の写真仲間のみなさんが十日町市の星峠、長野県の戸隠、剣岳などで撮った写真をそれぞれ4点ずつ展示されていました。

この写真展では光をどうとり入れるか、風景写真の中の野の花の位置など参考になることがたくさんありました。上の写真は私の本の表紙写真でお世話になっている吉川区の平田一幸さんの作品のそばで撮ってもらったもの。平田さんの作品は最近、身近なところでの題材を使ったものが多く、そこでの新鮮な発見が光ります。



【ダンギク】クマツツラ科の多年草。漢字で「段菊」と書きます。薄紫色の花が茎を囲んで、段になって咲きます。初めて見た時に花の輪が茎から離れて見え、不思議な感覚に襲われました。

金山課長は、「トイレを新設する場合、車いすの人でも利用できるトイレが必要。北越急行のHK100形という電車には床下に多くの機器が収納されていて車両改造が難しく、多額の経費がかかる。車両更新の際にはトイレ付車両も研究すると聞いている」と答えました。また、黒木企画政策部長も「市民の要望もあるので、県及び沿線市町、北越急行と協議していきたい」とのべました。

## 住宅リフォーム助成、1159件

今年度、市は1059件の住宅リフォームを対象に9997万円の交付をしたそう、補助対象となる工事の事業費総額は、補助金決定額の13・1倍に相当する13億723万円と見込んでいるとのこと。これは日本共産党議員団の橋本正幸議員の質問で明らかにされました。

はしづめ法一の  
活動レポート

**No.1775 2016.9.25**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見たある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第四二二回 敬老の日に

敬老の日。妻のキョウダイが相談して、柏崎の実家に集まって義母を励まそうということになりました。柿崎駅まで妻を送ろうとしたとき、「うちのばあちゃん、もし、行くと言ったら、あんた、ばあちゃんを柏崎まで連れて来てくれない」と言われました。携帯電話で母に「どうしてるね」と訊（き）いたところ、すぐに「行く」と返事をしてくれました。私が午前の活動を終えて、正午過ぎにわが家に戻ると、母は既に持参するものを用意して待っていました。長女によると、私から電話があった後、母は出発時間を一〇時だと勘違いしたらしく、それ以来、居間でずっと待っていたようです。

私の軽乗用車で柏崎市にある妻の実家に着いたのは午後一時少し前でした。玄関への登り道には萩が赤紫と白の花を咲かせていました。そして、上がりきった右側のところでは真つ赤な彼岸花がたくさん並んでいます。

玄関に入って声をかけると、まず妻が出てきて、次いで柏崎の義母も兄も出迎えてくれました。母が義母と会ったのは四年前の六月、松之山温泉で八人の祝いをしたとき以来ですから、ほんとうに久しぶりです。二人は抱き合ってから再会を喜びました。

居間に入った母に義母だか義母だかが「ありがとうございます」と言うと、母は「もうしゃけないです」を二度も繰り返しました。そして、母は持参してきた袋の中からミョウガの漬物を出しました。急な訪問でも、何か持って行かなければならないと急いで用意したんでしょうね。

この日、妻の実家に集まったのは妻の姉と連れ合い、私たち夫婦と母の五人です。居間ではすでに食事が始まっていました。テーブルの上には焼き焼きの鍋がのせられていて、牛肉やエノキダケ、ネギなどの野菜をぐつぐつ煮ていました。参加者が増えたことで、焼き焼きを食べるために用意した卵が足りなくなると判断した妻は、「あんた、ばあちゃん」と卵、半分こして食べてくれない」と私に言いました。

正午をとくに過ぎていましたので、お腹は空いています。じつは車の中で小さなパンを一個だけ食べていたのですが、そのことを隠して牛肉や野菜を勧められるままに食べ、さらに真ん中の大きめの皿に重ねてあった十数個の焼きおにぎりにも手を出し、二つもいただきました。焼きおにぎりは私の好物のひとつだったので。

さて、久しぶりに会った母と義母ですが、母は持参したミョウガの漬物をどう作ったかと義母などから質問され、「シソで色をつけたんですわ」「酢を入れるんではなくて梅酢を使うんです」などとうれしそうに語っていました。一方義母は、突然、私に「柿崎の直海浜に二幸さんのデイサービスがある？」と訊いてきました。「ありますよ、海の近くに」と答えたのですが、何かあったのかなと思いました。義母等によると、これまで義母が通っていたデイサービスの介護士さんの一人が急にいなくなったとのこと、義母は、その介護士さんが柿崎へ異動したんではと勝手に思い込んでいます。

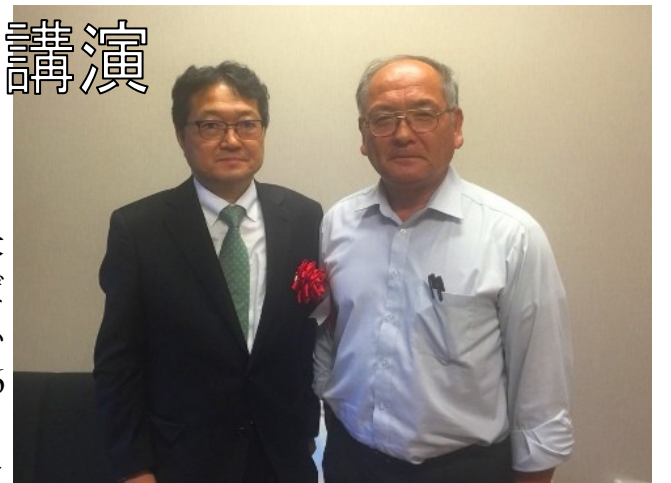
私はこの日、柏崎市民文化会館で開催される講演会に行くことになっていましたので、三〇分ほどで食事を抜け出し、会場へ向かいました。私がいる間は母と義母の話があまりなく、どういふんだろうと思っていました。講演会から戻ると、二人は義母の部屋でニコニコ顔、とても楽しそうでした。どうも余計な心配をしたようです。母は七年前に夫を亡くし、柏崎の義母はその二年後に夫を亡くしました。暮らし方も趣味もあまり重なるころはないのですが、歳は九二歳で一緒、二人とも同じような苦労をしてきたのかもしれない。この日はたつぷり話をしたようです。いかったあ。

## 面白かった池田功先生の石川啄木講演

上越市吉川区吉井出身で現在、国際啄木学会会長の池田功先生（明治大学大学院教授）の講演があるので19日、柏崎市市民文化会館に出かけてきました。正式にはドナル

ド・キーン・センター柏崎開館3周年記念特別講演会です。

池田先生の講演では、「啄木は短歌だけでなく、日記もすばらしい」として啄木日記を中心に話をされました。啄木が16歳から26歳まで書き続けた日記について、「自らの感情を赤裸々に記している」「（日記を）相談相手、友人のように」あつかっているなどと特徴づけておられました。また、キーン先生の啄木日記論も紹介してくださいました。「啄木が一番落ち込んだのは明治41年だ」「原稿は1か月に400字詰め原稿用紙に300枚くらい書いている」など



いくつものエピソードが盛り込まれていて、面白く聴きました。啄木の日記は部分的にしか読んでいないので、今度、ゆっくり読んでみたいと思います。

池田先生とキーン先生の対談では正岡子規と石川啄木の違いなどが話題となりました。「啄木が最初の現代日本人」というキーン先生のとらえ方はとても興味深いものでした。

講演会が終わってから楽屋に池田先生を訪ね、数年ぶりの再会を喜び合いました。楽屋には平山征夫元知事もおられ、「村山市政、しっかりチェックしていますか」などと声をかけていただきました。ツーショットは池田先生とです。



久しぶりにモクガニと出会いました。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月14日(水)	9月21日(水)
上越南消防署	0.037	0.047
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.047	0.043
頸南消防署	0.043	0.047
東頸消防署	0.050	0.053
高士分遣所	0.053	0.057
名立分遣所	0.053	0.057